



平成23年3月定例会

大館市議会会議録（第1号）

自 平成23年2月22日 開会
至 平成23年3月14日 閉会

大 館 市 議 会

2月22日（火曜日）

第1日目

平成23年 2月22日（火曜日）

議事日程第 1 号

平成23年 2月22日（火曜日）

開 会 午前10時

議長報告（文書）

第 1 会議録署名議員の指名

第 2 会期の決定

第 3 議案等の上程（一括）

説 明

質 疑

散 会

本日の会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案等の上程

1. 報 第 1 号 専決処分 の 報告 について（和解及び損害賠償について）
2. 議案第 1 号 外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例案
3. 議案第 2 号 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案
4. 議案第 3 号 大館市特別会計条例の一部を改正する条例案
5. 議案第 4 号 大館市教育施設整備基金に関する条例の一部を改正する条例案
6. 議案第 5 号 大館市立保育園設置条例の一部を改正する条例案
7. 議案第 6 号 大館市ふれあいセンターに関する条例の一部を改正する条例案
8. 議案第 7 号 大館市勤労者総合福祉センターに関する条例の一部を改正する条例案
9. 議案第 8 号 大館市独立行政法人緑資源機構事業負担金等徴収条例を廃止する条例案
10. 議案第 9 号 大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案
11. 議案第 10 号 大館市大町借上住宅に関する条例案
12. 議案第 11 号 秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の変更について
13. 議案第 12 号 市道路線の廃止について（旭ヶ丘 5 号線外 1 路線）

14. 議案第 13 号 市道路線の認定について（池内道下 2 号線外 4 路線）
15. 議案第 14 号 平成22年度大館市一般会計補正予算（第 7 号）案
16. 議案第 15 号 平成22年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）案
17. 議案第 16 号 平成22年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）案
18. 議案第 17 号 平成22年度大館市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）案
19. 議案第 18 号 平成22年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号）案
20. 議案第 19 号 平成22年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）案
21. 議案第 20 号 平成22年度大館市小規模水道等事業特別会計補正予算（第 1 号）案
22. 議案第 21 号 平成22年度大館市田代診療所事業特別会計補正予算（第 2 号）案
23. 議案第 22 号 平成22年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第 2 号）案
24. 議案第 23 号 平成22年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）案
25. 議案第 24 号 平成22年度大館市公営駐車場事業特別会計補正予算（第 2 号）案
26. 議案第 25 号 平成22年度大館市奨学資金特別会計補正予算（第 1 号）案
27. 議案第 26 号 平成22年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第 4 号）案
28. 議案第 27 号 平成22年度大館市土地取得特別会計補正予算（第 1 号）案
29. 議案第 28 号 平成22年度大館市宅地造成事業特別会計補正予算（第 1 号）案
30. 議案第 29 号 平成22年度大館市財産区特別会計補正予算（第 3 号）案
31. 議案第 30 号 平成22年度大館市水道事業会計補正予算（第 3 号）案
32. 議案第 31 号 平成22年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第 1 号）案
33. 議案第 32 号 平成22年度大館市下水道事業会計補正予算（第 3 号）案
34. 議案第 33 号 平成22年度大館市病院事業会計補正予算（第 4 号）案
35. 議案第 34 号 平成23年度大館市一般会計予算案
36. 議案第 35 号 平成23年度大館市国民健康保険特別会計予算案
37. 議案第 36 号 平成23年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案
38. 議案第 37 号 平成23年度大館市介護保険特別会計予算案
39. 議案第 38 号 平成23年度大館市介護サービス事業特別会計予算案
40. 議案第 39 号 平成23年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案
41. 議案第 40 号 平成23年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案
42. 議案第 41 号 平成23年度大館市休日夜間急患センター特別会計予算案
43. 議案第 42 号 平成23年度大館市田代診療所事業特別会計予算案
44. 議案第 43 号 平成23年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計予算案
45. 議案第 44 号 平成23年度大館市農業集落排水事業特別会計予算案
46. 議案第 45 号 平成23年度大館市公営駐車場事業特別会計予算案

47. 議案第 46 号 平成23年度大館市温泉開発特別会計予算案
48. 議案第 47 号 平成23年度大館市奨学資金特別会計予算案
49. 議案第 48 号 平成23年度大館市都市計画事業特別会計予算案
50. 議案第 49 号 平成23年度大館市土地取得特別会計予算案
51. 議案第 50 号 平成23年度大館市宅地造成事業特別会計予算案
52. 議案第 51 号 平成23年度大館市宅地造成事業特別会計への繰入れについて
53. 議案第 52 号 平成23年度大館市財産区特別会計予算案
54. 議案第 53 号 平成23年度大館市水道事業会計予算案
55. 議案第 54 号 平成23年度大館市工業用水道事業会計予算案
56. 議案第 55 号 平成23年度大館市下水道事業会計予算案
57. 議案第 56 号 平成23年度大館市病院事業会計予算案
-

出席議員（26名）

1 番	小棚木 政 之 君	2 番	武 田 晋 君
3 番	佐 藤 照 雄 君	4 番	小 畑 淳 君
6 番	中 村 弘 美 君	7 番	畠 沢 一 郎 君
8 番	伊 藤 毅 君	9 番	藤 原 明 君
10番	千 葉 倉 男 君	11番	佐 藤 久 勝 君
12番	仲 沢 誠 也 君	14番	石 田 雅 男 君
15番	虻 川 久 崇 君	16番	藤 原 美佐保 君
17番	笹 島 愛 子 君	18番	明 石 宏 康 君
19番	吉 原 正 君	20番	佐々木 公 司 君
22番	安 部 貞 榮 君	23番	八木橋 雅 孝 君
24番	田 中 耕太郎 君	25番	田 畑 稔 君
27番	相 馬 エミ子 君	28番	高 橋 松 治 君
29番	奥 村 隆 俊 君	30番	芥 藤 則 幸 君

欠席議員（2名）

5 番	佐 藤 一 秀 君	26番	富 樫 安 民 君
-----	-----------	-----	-----------

欠 員（2名）

説明のため出席した者

市 長 小 畑 元 君

副	市	長	長	岐	利	堅	君
副	市	長	吉	田	光	明	君
總	務	部	長	花	田	鉄	男
總	務	課	長	阿	部		徹
總	務	課	長	補	佐	本	多
						恒	博
財	政	課	長	芳	賀	利	彦
市	民	部	長	齋	藤	ま	き
						子	君
産	業	部	長	木	村	勝	広
建	設	部	長	丸	屋	義	明
比	内	總	合	支	所	長	羽
							賀
							一
							雄
田	代	總	合	支	所	長	吉
							田
会	計	管	理	者		金	賢
病	院	事	業	管	理	者	佐
						々	木
						睦	男
市	立	總	合	病	院	事	務
						局	長
						明	石
						和	夫
消		防		長		石	井
						直	文
教		育		長		高	橋
						善	之
教		育		次		大	友
						隆	彦
選	挙	管	理	委	員	会	事
						務	局
						長	戸
							田
農	業	委	員	会	事	務	局
						長	奈
							良
監	査	委	員	事	務	局	長
							田
							村
							喜
							美
							雄
							君

事務局職員出席者

事	務	局	長	渡	部	清	美	君
次			長	豊	田	耕	司	君
係			長	笹	谷	能	正	君
主			査	若	松	健	寿	君
主			査	金		一	智	君
主			任	佐	々	木	仁	君

午前10時00分 開 会

- 議長（石田雅男君） これより、平成23年3月大館市議会定例会を開会いたします。
出席議員は定足数に達しております。
よって、直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、日程第1号をもって進めます。
諸般の報告は、お手元に配付してあります文書により御了承願います。
-
-

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（石田雅男君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。
本定例会の会議録署名議員は、27番 相馬エミ子君、28番 高橋松治君、29番 奥村隆俊君を指名いたします。
-
-

日程第2 会期の決定

- 議長（石田雅男君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
本定例会の会期は、本日から3月14日までの21日間と定めたいと思います。
これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（石田雅男君） 御異議なしと認めます。
よって、会期は本日から21日間と決定いたしました。
なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付してあります日程表のとおりでありますから、さよう御了承願います。
-
-

日程第3 議案等の上程

- 議長（石田雅男君） 日程第3、議案等の上程を行います。
報第1号及び、議案第1号から同第56号までの以上57件を一括上程いたします。
提出者の説明を求めます。

〔市長 小畑 元君 登壇〕

- 市長（小畑 元君） 3月定例会に当たり、提出議案の説明に先立ちまして、12月定例会以後の主な事項について、概要を御報告申し上げます。

1、大館鳳鳴高等学校野球部の甲子園初出場について。

去る1月28日、大館鳳鳴高等学校野球部が第83回選抜高等学校野球大会の21世紀枠代表校に選出され、春、夏を通じて北鹿地方から初の甲子園出場が決定しました。地域の長年の夢がか

なえられたものであり、この喜びを皆様とともに分かち合いたいと思います。地域経済・雇用情勢が厳しい中、本市が市制施行60周年という大きな節目を迎える年に、地域に自信を与える明るい話題をいただいたことに感謝を申し上げるとともに、これまで出場に向け御尽力された関係各位に敬意を表する次第であります。市では、同校が21世紀枠の候補校となったときから本庁と比内・田代両総合支所に出場を願う垂れ幕を掲げ、また、出場決定の際にはすぐに祝福の垂れ幕につけかえるなどしてきたところではありますが、今後は同校野球部が甲子園で堂々と存分に活躍されるよう市民全体で応援してまいりたいと考えており、本定例会に関係予算案を追加提出させていただく予定としておりますので、よろしくお願い申し上げます。

2、大雪への対応及び雪害の状況について。

今冬の雪は県南地域ほどの豪雪とはならなかったものの、本市においても1月中旬からの降雪に加え低温の日が続き、1月31日には積雪が80センチメートルほどとなったことから、同日、災害（雪害）警戒対策室を設置し警戒に当たるとともに、雪や道路除雪に関する問い合わせ先として「雪に関する110番」を開設し、市民の皆様からの相談・苦情等に対応しております。また、市のホームページや報道機関を通じて、市や関係団体が行う除雪支援事業や除雪・雪おろしでの注意事項等について周知を図るとともに、2月2日から5日間、市内全域で広報車により雪おろし等での事故防止を呼びかけております。2月18日現在、本市における雪害は、屋根からの転落や落雪等による死者3名、負傷者13名、住宅等の破損3件、農畜産用ビニールハウスの倒壊8件のほか、一部の地区では停電や倒木が発生しております。道路除雪につきましては、パトロールの強化や町内の状況把握をしながら実施してきたところ、一斉出勤回数は既に昨年を上回る状況であり、道路や雪寄せ場の排雪も強化し、幹線道路・生活道路の幅員や通学路の確保に努めてきたところでもあります。除雪経費は1月末現在で2億7,700万円ほどになっており、昨年同期との比較では若干少ない状況ではありますが、降雪量を考慮して本定例会に4,600万円の補正予算を計上しており、さらに追加補正予算案を提出させていただく予定としておりますので、よろしくお願い申し上げます。

3、地域経済対策について。

市では、本年度において国の平成21年度補正予算による地域活性化・きめ細かな臨時交付金や地域活性化・公共投資臨時交付金を充当した繰越事業として71件、総額6億9,000万円ほどの事業を継続的に実施し、地域経済対策に取り組んできたところでもあります。しかしながら、これらの対策を講じたとはいえ、ハローワーク大館管内の有効求人倍率や日銀秋田支店の県内景気判断が示すとおり雇用・所得環境は依然厳しい状況にあります。そのため、昨年11月に国の補正予算で創設された地域活性化・きめ細かな交付金や地域活性化・住民に光をそそぐ交付金を効果的に活用しながら、引き続き地域経済の活性化と雇用の確保につなげたいと考えております。今回の交付金は地域や教育団体などからの要望事項を優先し、保育施設や教育施設・生活道路の整備など39件の事業に活用することとし、本定例会に2億8,000万円ほどの関連予

算案を提出させていただいており、さらに国の2次内示分として1,100万円余りの追加補正予算案を提出させていただく予定としておりますので、よろしくお願い申し上げます。

4、交通死亡事故への緊急対応について。

昨年10月からことし1月までの4カ月間に市内で交通死亡事故が7件発生しており、市では1月26日に大館警察署や交通安全協会などの交通関係5団体と交通死亡事故抑止緊急対策会議を開催いたしました。会議ではこれらの交通死亡事故の原因とその抑止策などについて協議し、事故の多くが夜間の事故や路面凍結によるスリップ事故であったことから、夜間反射材の使用、早めのライト点灯、十分な車間距離の確保を市民に呼びかけることとし、2月1日には一斉街頭キャンペーンとして市全域でチラシと反射材の配布を行っております。市内での死亡事故はここ数年減少を続けておりましたが、この4カ月間の事故多発は極めて憂慮すべき事態であると思っており、今後も関係機関と一体となって対策を講じてまいります。

5、有浦保育園改築事業について。

総事業費3億8,500万円、延べ面積を旧園舎の約1.7倍の1,394平方メートルに拡大して改築中の有浦保育園は、3月18日の竣工に向け順調に工事が進んでおります。新園舎には中庭を配置し保育室との間に回廊を設けることにより、天候に左右されず園児がのびのびと活動できるようにしております。また、ペレットボイラーによる暖房やリサイクル製品であるグリーンボード、秋田杉、十和田石を使用するなど、環境や地産地消にも配慮したものとしております。本事業により有浦保育園は保育環境の改善が図られるとともに定員が30人増の130人となることから有浦保育園分園は廃止し、その建物を利用して入園希望の多い城南保育園の分園を設置し、待機児童の解消につなげたいと考えており、本定例会に関係条例案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。

6、高齢者の安否確認について。

昨年10月に発生した高齢者死体遺棄事件に続き、2月1日に再び同様の事件が市内で発生したことはまことに遺憾であり、重く受けとめております。本市では、昨年8月、高齢者の所在不明が全国的に問題となって以来、100歳以上の方の安否確認を行っていましたが、昨年10月の事件発生を受け、さらに65歳以上の方についても調査してまいりました。その結果、住民登録がありながら実際にはお住まいになっていない方が5名おられるということが判明し、現在、最終的な確認作業を進めております。この調査では、直接御本人にお会いできず御家族から口頭で安否を確認せざるを得ない事例もあったことから、全員の安否を確認できるよう調査方法の改善を図るとともに、新年度からは友愛訪問を行っていただく老人クラブの数を本年度の4倍にふやす予定としております。また、2月15日には日常的に戸別に家庭を訪問する機会の多い事業所の皆様の御協力をいただき、県内で初めてとなる大館市見守り隊が発足したところであり、地域全体で見守り活動を行う体制も整備されたところであります。今後は、さらに市民の皆様が日常の困り事等について気軽に御相談いただけるよう、生活や健康に関する相談

窓口・連絡先を記載した保存用一覧表を毎戸配布するとともに、全庁体制で市の職員が見守り隊と同様に地域での情報収集や見守り活動を実践し、迅速かつ的確に対応できるようにしてまいりますので、御理解をお願い申し上げます。

7、平成23年産米の生産数量目標について。

平成23年産米の需要量につきましては、22年産米に比べ912トン少ない2万1,761トンが提示されました。これを受けて大館市水田農業振興協議会ではすべての農家に対する配分率を昨年度より2.4ポイント少ない57.4%に決定し、JA等に通知したところであります。市町村への配分率の格差につきましては3年間で2分の1程度に縮小することとされておりますが、依然格差は残ることになり、本市の農業者からは不満の声が上がっていることから、今後も県に対し配分率格差の是正を粘り強く要望してまいります。

8、農業者戸別所得補償制度への取り組みについて。

来年度の水田農業推進方針につきましては、国の農業者戸別所得補償制度が本格実施されることから、米に対する助成の定額部分10アール当たり1万5,000円や、水田活用の所得補償交付金の10アール当たり新規需要米8万円、大豆3万5,000円、ソバ・加工用米2万円などを有効活用するとともに、国の産地資金や県の基金事業である政策転換対応型農業支援事業を活用して重点戦略作物9品目を中心に助成を行うほか、市独自の飼料用米等作付支援事業を来年度も継続して認定農業者・集落営農組織を対象に10アール当たり2万円を助成し、水田の有効活用を図ってまいりたいと考えております。

9、耕作放棄地対策の取り組みについて。

市農業公社が実施しております遊休農地等利活用調整業務については、比内・田代地域の調査が昨年度終了し、大館地域の2分の1の調査が本年度中に終了する予定となっております。大館地域では、これまでの調査で水田211.7ヘクタール、率で11.1%、畑では7.3ヘクタール、率で8.6%の耕作放棄地を確認しております。また、大館市耕作放棄地対策協議会では、昨年度の田代地域に続き比内地域の耕作放棄地解消行動計画を作成し、所有者に対して意向調査を実施したところ、105人からあっせんの希望がありました。一方、受け手となる認定農業者・担い手農家に対しても経営規模拡大等の意向調査を実施したところ、9人の農家から受け入れの希望がありました。今後、協議会では貸し手・受け手の仲介をしながら耕作放棄地の解消を図っていく予定としております。本年度の耕作放棄地の解消状況につきましては、比内・田代両地域合わせて13.19ヘクタールの所有権移転・利用権設定がされており、そのうち1.28ヘクタールが農地として再生され、来年度から作付が行われる予定となっております。

10、農業農村整備事業の状況について。

農地集積加速化基盤整備事業では、本年度から沼館地区で圃場整備工事を実施し、進捗率は36%で、完成は平成26年度の見込みとなっております。また、農道整備事業では、笹館地区で農道改良事業を実施し、進捗率は87%で、23年度の完成を目指しており、中山間総合整備事業

では、山瀬地区で農業用排水路及び農道整備工事を実施し、進捗率は66%で24年度の完成を目指しております。

11、林業振興事業の状況について。

市の森林整備事業による私有林の初回間伐は27.5ヘクタールを実施し、市有林造成事業では77.5ヘクタールを実施しております。また、ふるさと雇用再生特別交付金・緊急雇用創出事業を活用し、市有林枝打ち事業として57ヘクタールを実施したほか、市有林間伐材収集利活用事業として間伐材から約42トンのペレットを製造しており、来年度も引き続きこれらの事業を実施してまいりたいと考えております。

12、養豚企業の誘致について。

市では株式会社シムコによる養豚企業の進出について同社とともに説明会等を開催してきたところ、地元住民や関係団体等からの同意が得られたことから、昨年12月9日に大館市公害防止条例に基づき、大淵町内会・田代町土地改良区・田代漁業協同組合・株式会社シムコと市の5者により公害防止協定を締結いたしました。その後、同社では1月上旬に用地取得を終え、2月には県に林地開発許可の申請をするなど、本格的な養豚事業に着手しております。今後、雪解けを待ち、用地造成や豚舎の建築工事を行い、平成24年の操業開始を目指すこととしており、これに先立って地元住民や関係団体等の皆様を招いて施設見学会を開催する予定としております。同社の誘致は、豚ふん堆肥を利用した地域循環型の有機農業や養豚飼料への飼料米の利用など、さまざまな分野に波及する可能性を含んだ企業誘致になるものと思っており、今後も引き続き畜産農業施設の誘致を推進し、雇用の場の確保と地域活性化に努めてまいります。

13、地域活性化対策について。

市では、過疎や少子高齢化などにより活力の低下が懸念される市内各地域の活性化に向け、これまでさまざまな取り組みをしてまいりました。本年度は新たな取り組みとして、地域課題の解決に向け住民みずからが取り組む活動を支援する地域応援プランをスタートさせ、市内42団体の事業を採択したところであり、住民みずからのアイデアと熱意が各地区はもとより市全体の活性化につながっていくものと期待しております。また、昨年12月には大葛地区に地域おこし協力隊2名をお迎えし、地域の新たな担い手として活動していただきながら、地元の方では気づかない魅力の発見や地域からの情報発信、地域活性化のためのアイデアなどを提案していただいております。このほか、昨年1月から廃校となった山田小学校校舎を活用した生ハム工場も操業を開始し、早ければこの春にも初出荷が見込まれるところであり、また、先ほど御報告しました菅谷地地区への養豚企業の誘致も決定しており、今後の地域活性化効果を期待しているところでもあります。今後も、市では中山間地域を初めとする限界集落はもとより市内全域の活性化に向け、さまざまな取り組みを全庁体制で推進してまいりたいと考えております。

14、低炭素社会に向けた取り組みについて。

市では、これまで化石燃料から再生可能エネルギーへの転換として公共施設へのペレットス

トープやペレットボイラーの導入を推進してきた結果、平成21年度末の病院・教育施設を除いた公共施設の化石燃料の使用量は、17年度比で81%の削減が図られました。本年度は、さらに有浦保育園とハチ公荘にペレットボイラーの導入を図ったほか、産・学・官・民による大館市木質バイオマス利活用推進協議会を組織し、民間への木質ペレットの普及に向け検討していただいているところであります。また、エネルギー消費量の削減を図るため、公用車へのハイブリッドカーの導入や、公園・市道へのLED街灯の設置などを行っており、来年度は公設総合地方卸売市場の照明をLED化する計画としております。これらの取り組みで削減される二酸化炭素の排出権を、国内クレジット制度などを活用した取引で売却し、その収益によりさらなる二酸化炭素削減に向けた取り組みを強化してまいりたいと考えております。さらに、熔融スラグ製品化事業・こでん回収事業・家電リサイクル事業など、市の基幹産業であるリサイクル産業も資源再生性の向上という面から低炭素社会の構築に向け重要な役割を担っていると思っており、今後も市の豊富な森林資源やリサイクル産業などを有効に活用しながら、豊かな自然と共生し、調和した社会づくりを進めてまいりたいと考えております。

15、雇用情勢について。

この春の高校卒業予定者の就職につきましては、1月末現在、216人の就職希望者のうち196人が内定し、率にして90.7%と昨年に比べ5.4ポイントほど低くなっており、関係者による支援が続いております。一方、12月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は0.59と県内では最上位となっておりますが、依然として厳しい状況に変わりはなく、継続的な対策が求められております。市が本年度実施している緊急雇用関連対策では、61事業で241人の雇用を確保しており、事業費は2億8,900万円ほどとなる見込みであります。来年度につきましては、緊急雇用創出臨時対策基金事業による71事業で205人、ふるさと雇用再生臨時対策基金事業による9事業を加え、合計で231人の雇用を確保したいと考えており、本定例会に総額5億4,000万円ほどの関係予算を計上しておりますので、よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

16、冬まつりについて。

(1)比内とりの市。

27回目となりました比内とりの市は、1月22日、23日の両日、比内グラウンドを主会場に開催されました。比内鶏ダービー、比内地鶏の創作メニューの試食、比内地鶏千羽焼きなどの比内鶏にこだわった多彩なイベントが行われ、会場には東京からの観光モニターも訪れるなど、悪天候にもかかわらず約3万5,000人の来場者でにぎわいました。

(2)大館アメッコ市。

2月12、13日の両日、大町ハチ公通りを主会場に大館アメッコ市が開催されました。109店舗が軒を連ねる中、白髭大神巡行・秋田犬パレードなどのイベントのほか、今回はハチ公小径に設けたステージで4つのコンサートが行われるなど、中心商店街周遊型の祭典に向けた取り組みが行われました。弘前からの300人の大規模ツアーを初め、JR東日本の企画となる「駅

からハイキング」、新幹線新青森駅を活用した旅行商品による観光客にも来場いただくなど、約11万5,000人の来場者でにぎわいました。

17、道路の整備状況について。

地域活力基盤創造交付金事業では、かねてから要望があった長面地区の福館橋改修の代替案として、二中長面袋線の道路改築に向けて道路・橋梁詳細設計を行っており、3月末にはその道路線形・橋梁架設位置等が決定する予定であります。また、きめ細かな交付金事業では30路線、公共投資臨時交付金事業では7路線の道路改良や側溝改良・舗装補修を実施しており、狭あい道路整備等促進事業では、幅員4メートル未満の狭隘道路の解消に向けて6路線について道路改良を実施しております。23年度には、22年度からの繰越事業として20路線の道路整備を実施する予定であり、本定例会に繰越明許に係る予算案を提出しておりますので、よろしく御審議をお願い申し上げます。なお、昨年から15メートル未満の橋梁106橋の点検を行っており、来年度は橋梁の長寿命化計画の策定に取り組んでまいります。

18、日本海沿岸東北自動車道の整備状況について。

大館北一小坂間は順調に工事が進み、全5カ所の橋梁の架設と5カ所のトンネルのうち4カ所が貫通し、全体の事業費ベースでの進捗率は7割ほどとなっております。また、大館西道路は工事が急ピッチで進み、現在供用を開始している4.6キロメートルに加え、平成23年度中に南西に2.6キロメートル延伸し、櫃崎地内の主要地方道比内田代線に接続する予定となっております。鷹巣大館道路は、摩当山トンネル工事が順調に進み、昨日トンネルの貫通式が行われたところであります。今後は、大館北一小坂間と大館西道路が平成25年度に全線開通となるよう引き続き関係機関に強く要望してまいります。一方、二ツ井白神インターチェンジ―あきた北空港インターチェンジ間のミッシングリンク解消につきましても最優先課題として取り組んでいるところでありますが、この区間については、昨年11月に国土交通省の計画段階評価試行箇所を選定され、現在、社会資本整備審議会道路分科会の東北地方小委員会で審議されており、これに関して国土交通省では秋田県北地域でアンケート調査を実施しているところであります。市民の皆様には既に市広報2月号とともに配布させていただいておりますので、多数の御意見をお寄せくださるようお願い申し上げます。

19、水道施設の整備状況について。

本年度は、老朽管更新事業として、柄沢字狐台地内・池内道上地内等の2,448メートルを整備し、水圧の確保や有収率・耐震性の向上を図ってまいりました。また、水道未普及地域解消事業では、橋桁地区で着工し、本年度末には全体計画の約68%に当たる1,800メートルが整備される予定となっております。今後も計画的に老朽管の更新整備や未普及地域の解消を図ってまいります。

20、公共下水道の整備状況について。

公共下水道につきましては、これまでに274億7,000万円の事業費を投入しており、本年度末

には認可区域の80.9%に当たる1,198ヘクタールが整備されることとなります。この4月からは、大館地域では中道・御成町・有浦・餅田・根下戸新町の一部、比内地域では味噌内の一部、合わせて約44ヘクタールを新たに供用開始いたします。これにより、対象人口3万4,400人、1万4,000世帯の方々が下水道を利用できることとなり、本市における普及率は本年度当初と比較して1.5ポイント増の43.1%となる見込みであります。また、来年度は、中道三丁目、御成町三丁目と四丁目、有浦四丁目、根下戸新町、味噌内、茂屋などを引き続き整備するほか、新たに御成町一丁目、有浦三丁目の一部などの整備を予定しております。

21、小・中学校の耐震対策事業について。

優先度ランク1に該当した校舎のうち、大規模地震の際には倒壊の危険性が高いと言われている構造耐震指標、いわゆるI s値0.3未満の校舎の耐震補強工事は本年度ですべて終了し、来年度からは、倒壊の危険性があると言われているI s値0.3以上0.7未満の校舎の耐震補強工事を実施していく予定であります。一方、優先度ランク3に該当している成章中学校体育館の耐震第2次診断を実施したところI s値0.3未満と報告されたことから、生徒の安全を確保するために同校体育館の使用を禁止するなどの措置を講ずるとともに、これと建築時期及び構造が同一である第一中学校第2体育館について早急に耐震診断を実施するため、本定例会に関連予算案を追加提出する予定としておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

22、平成23年度全国高等学校総合体育大会に向けて。

8月1日からの4日間、高館テニスコートで行われる全国高校総体女子ソフトテニス競技の開催まで残すところ160日となりました。現在、大会運営に万全を期すため、大館市実行委員会を組織し準備を進めております。高校総体は自分たちの大会という位置づけで、一人一役活動として高校生が大会全体に大きくかかわりながら運営されることとなります。競技進行、審判・記録、案内、環境美化などの活動を通じ、県内外の多くの高校生が触れ合い交流を深めながら大会を盛り上げていただけるものと期待しております。市では今後も高校総体の成功に向け万全の準備を進めてまいりますので、議員各位を初め、市民の皆様の御支援と御協力をよろしくお願ひ申し上げます。

続きまして、提出いたしました議案等につきまして主な内容を御説明申し上げます。

報第1号は、専決処分の報告についてであります。

これは、平成22年12月27日に山田字茂屋畑の岱地内におきまして、本市所有のダンプトラックが停車中の軽貨物自動車に接触した事故に伴う専決処分であります。この事故につきましては相手側に誠意を示しながら解決に当たり、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定した事項として専決処分をさせていただきましたので、御報告申し上げます。

議案第1号は、外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、人事院規則の一部改正により、国際機関等に派遣される国家公務員の派遣期間中に

おける給与の支給割合を100分の70未満に設定できるものとされたこと等に伴い、本市においても国に準じ所要の措置を講じようとするものであります。

議案第2号は、市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、平成19年7月から減額して支給しております副市長の給料につきまして、現在の任期が満了する本年6月30日まで、その減額の期間を延長しようとするものであります。

議案第3号は、大館市特別会計条例の一部を改正する条例案であります。

これは、大館市老人保健特別会計につきまして、法律の規定による設置期間が本年3月31日をもって満了することに伴い、同特別会計を廃止しようとするものであります。

議案第4号は、大館市教育施設整備基金に関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、白沢字寺の沢地内の学校林につきまして皆伐を行い、分収造林の契約期間が満了したことから、その用途を廃止しようとするものであります。

議案第5号は、大館市立保育園設置条例の一部を改正する条例案であります。

これは、有浦保育園の改築により定員が30人増加することから有浦保育園分園を廃止し、その建物を利用して本年4月から城南保育園分園を設置しようとするものであります。

議案第6号は、大館市ふれあいセンターに関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、大館市ふれあいセンターにつきまして、保育時間に関する要望、同センターの利用状況等を勘案し、開館時間を午前8時から午後6時までに変更するとともに、月の途中での保育施設への入退所に係る利用料金を日割りにより算定しようとするものであります。

議案第7号は、大館市勤労者総合福祉センターに関する条例の一部を改正する条例案であります。

これは、独立行政法人雇用・能力開発機構から市に無償で譲渡される大館地域職業訓練センターにつきまして、本年4月から隣接する大館市勤労者総合福祉センターと一体的に管理するため、当該施設に係る利用料金の上限等について条例に規定しようとするものであります。また、あわせて大館市附属機関の設置に関する条例について、所要の改正を行うものであります。

議案第8号は、大館市独立行政法人緑資源機構事業負担金等徴収条例を廃止する条例案であります。

これは、昭和62年度から平成2年度まで旧農用地開発公団事業として本市において実施された北鹿区域畜産基地建設事業における受益者負担金の徴収が本年度をもって終了することから、本条例を廃止しようとするものであります。

議案第9号は、大館市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案であります。

これは、道路法施行令の一部改正により指定区間内の国道に係る占用料の額が改定されたことに伴い、本市においても国に準じ、本年4月から市道の占用料を改定しようとするものであります。

議案第10号は、大館市大町借上住宅に関する条例案であります。

これは、優良建築物等整備事業により民間事業者が建設した建築物の一部を活用し、まちなか居住の推進及び中心市街地の活性化を図ることを目的として、大館市大町借上住宅を設置し、これを管理するため、本条例を制定しようとするものであります。

議案第11号は、秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の変更についてであります。

これは、北秋田市上小阿仁村病院組合が本年3月31日をもって解散することに伴い、事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更について関係地方公共団体と協議するため、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるものであります。

議案第12号は、市道路線の廃止についてであります。

これは、市道路線の終点に変更が生じたため、これらの路線を廃止しようとするものであります。

議案第13号は、市道路線の認定についてであります。

これは、道路改良計画に基づく道路の築造に伴い終点に変更が生じた道路、公園造成事業に伴い終点に変更が生じた道路、大館市開発指導要綱に基づく宅地造成に伴い築造された道路及び生活関連道路を市道に認定し、管理しようとするものであります。

議案第14号は、平成22年度大館市一般会計補正予算（第7号）案であります。

今回の補正額は12億1,069万6,000円の追加で、補正後の予算総額は327億4,895万円となる見込みであります。まず、歳入の補正の主な内容を申し上げますと、市税では、市民税個人分で8,000万円を減額、市民税法人分で2億円、固定資産税で1億3,100万円をそれぞれ追加。地方交付税に8億6,688万3,000円を追加。国庫支出金では、子ども手当負担金を1億381万6,000円減額、国の平成22年度第1次補正予算に伴うきめ細かな交付金に1億8,936万3,000円、住民生活に光をそそぐ交付金3,265万8,000円をそれぞれ計上。県支出金では、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金に2,194万5,000円を計上、ふるさと雇用再生特別交付金・緊急雇用創出事業交付金を2,427万9,000円減額。市債では、有浦保育園改築事業債を2,190万円減額、まちづくり事業債に5,760万円を追加したものであります。

次に、歳出の主な内容について申し上げますと、総務費では、財政調整基金積立金に7億249万6,000円、減債基金積立金に4億1万円をそれぞれ追加。民生費では、国民健康保険特別会計繰出金に8,711万9,000円を追加、子ども手当費1億3,843万7,000円を減額。衛生費では、市立総合病院及び扇田病院への負担金・補助金に1億112万8,000円、予防接種委託料に5,334万5,000円をそれぞれ追加。土木費では、道路維持費に除雪費として4,600万円を追加、都市計画総務費に生活バス路線維持費補助金1億1,381万2,000円を計上。教育費では小・中学校の施設維持補修工事費に9,269万円を追加。公債費では借入利率の確定等に伴い3,508万8,000円を減額。諸支出金では水道事業等への公営企業助成費で6,195万6,000円を減額しております。なお、国の緊急総合経済対策として平成22年度第1次補正予算で措置された、きめ細かな交付金

事業及び住民生活に光をそそぐ交付金事業につきまして、昨年12月3日に国から交付の内定通知があり、施設の維持補修事業、小・中学校の図書整備事業等、合わせて39件、2億7,670万8,000円を計上しております。

また、第2条第2表に辺地共聴施設整備事業など20件に係る繰越明許費の設定を、第3条第3表(1)には平成22年度農業経営基盤強化資金利子助成金に係る債務負担行為の追加を、同表(2)にはコンピューターリース料など19件に係る債務負担行為の変更を、さらに、第4条第4表(1)には公有林整備事業など2件に係る地方債の追加を、同表(2)にはテレビ難視聴地域解消事業など16件に係る地方債の限度額の変更をお願いしております。

議案第15号から同第29号までの15件は、平成22年度大館市の各特別会計における補正予算案であります。

議案第15号は、平成22年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案であり、今回の補正は、歳入の国民健康保険税、歳出の保健事業費の減額等に伴うもので、歳入・歳出とも2,122万2,000円を減額し、補正後の予算総額は92億8,240万円となる見込みであります。

議案第16号は、平成22年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は、後期高齢者医療保険料の減額等に伴うもので、歳入・歳出とも3,526万9,000円を減額し、補正後の予算総額は8億1,229万円となる見込みであります。

議案第17号は、平成22年度大館市介護保険特別会計補正予算（第4号）案であり、今回の補正は、保険給付費の減額等に伴うもので、歳入・歳出とも1億6,557万5,000円を減額し、補正後の予算総額は77億863万1,000円となる見込みであります。

また、第2条第2表に既定の債務負担行為の限度額につきまして、変更をお願いしております。

議案第18号は、平成22年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正額は3万円の追加で、補正後の予算総額は7,966万9,000円となる見込みであります。

議案第19号は、平成22年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は、戸別浄化槽使用料を減額し、歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は補正前と同額の2,813万9,000円となる見込みであります。

議案第20号は、平成22年度大館市小規模水道等事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は、繰越金を計上し、歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は補正前と同額の331万6,000円となる見込みであります。

議案第21号は、平成22年度大館市田代診療所事業特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は、諸収入を計上し、歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は補正前と同額の6,628万円となる見込みであります。

議案第22号は、平成22年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正額は34万5,000円の追加で、補正後の予算総額は1,463万7,000円となる見込み

であります。

また、第2条第2表に既定の債務負担行為の限度額につきまして、変更をお願いしております。

議案第23号は、平成22年度大館市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）案であり、今回の補正額は2,207万円の減額で、補正後の予算総額は5億355万5,000円となる見込みであります。

また、第2条第2表に繰越明許費の設定を、第3条第3表には地方債の限度額の変更につきまして、それぞれお願いをしております。

議案第24号は、平成22年度大館市公営駐車場事業特別会計補正予算（第2号）案であり、今回の補正は、繰越金を計上し、歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は補正前と同額の4,251万4,000円となる見込みであります。

議案第25号は、平成22年度大館市奨学資金特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正額は235万6,000円の追加で、補正後の予算総額は3,164万4,000円となる見込みであります。

議案第26号は、平成22年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第4号）案であり、今回の補正額は186万2,000円の減額で、補正後の予算総額は5億1,773万5,000円となる見込みであります。

議案第27号は、平成22年度大館市土地取得特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正額は8万5,000円の追加で、補正後の予算総額は8万9,000円となる見込みであります。

議案第28号は、平成22年度大館市宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）案であり、今回の補正は、繰越金を計上し、歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は補正前と同額の2,334万2,000円となる見込みであります。

議案第29号は、平成22年度大館市財産区特別会計補正予算（第3号）案であります。

上川沿・下川沿・片山・川口・餅田・立花の6財産区につきましては、合わせて51万5,000円を追加し、補正後の予算総額は6財産区勘定で2,487万2,000円となる見込みであります。また、山瀬財産区につきましては、繰越金を計上し、歳入の組み替えを行うもので、補正後の予算総額は補正前と同額の10万3,000円となる見込みであります。

議案第30号は、平成22年度大館市水道事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に、業務の予定量であります。上水道事業における給水戸数を50戸増の2万2,778戸とし、年間総給水量を8万7,100立方メートル増の501万3,600立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入では、上水道事業の給水収益の増収に伴い営業収益等を1,611万5,000円追加したことにより、補正後の総額は13億2,428万8,000円となる見込みであります。一方、支出では、修繕費等を2,841万1,000円減額したことにより、補正後の総額は12億6,230万6,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では、工事負担金等を987万8,000円減額したことにより、補正後の総額は2億2,939万円

となる見込みであります。また、支出では、工事費等を1,249万1,000円減額したことにより、補正後の総額は6億1,243万7,000円となる見込みであります。

このほか、第5条から第8条に既定の債務負担行為の限度額等につきまして、それぞれ変更をお願いしております。

議案第31号は、平成22年度大館市工業用水道事業会計補正予算（第1号）案であります。

最初に、業務の予定量であります。年間総給水量を13万9,000立方メートル増の117万7,000立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入では、給水収益を318万7,000円追加し、他会計補助金等を271万1,000円減額したことにより、補正後の総額は4,381万2,000円となる見込みであります。また、支出では、消費税及び地方消費税等を56万1,000円追加したことにより、補正後の総額は4,366万7,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。今回は支出のみの補正であり、工事請負費等を335万6,000円減額したことにより、補正後の総額は2,306万円となる見込みであります。

このほか、第5条及び第6条に経費の流用に関する事項等につきまして、それぞれ変更をお願いしております。

議案第32号は、平成22年度大館市下水道事業会計補正予算（第3号）案であります。

最初に、業務の予定量であります。排水戸数を75戸増の1万692戸に、年間総排水量を5万6,000立方メートル増の249万4,200立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入では、下水道使用料・他会計補助金等を6,488万円追加し、他会計負担金等を1億2,281万7,000円減額したことにより、補正後の総額は11億4,927万3,000円となる見込みであります。また、支出では、流域下水道の維持管理負担金・企業債利息等を6,621万9,000円減額したことにより、補正後の総額は13億1,543万3,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では、企業債等を359万2,000円追加し、受益者負担金を51万9,000円減額したことにより、補正後の総額は12億5,866万1,000円となる見込みであります。また、支出では、流域下水道の事業費負担分及び企業債償還金等で693万2,000円を追加し、補正後の総額は17億2,971万6,000円となる見込みであります。

このほか、第5条及び第6条に既定の企業債の限度額等につきまして、それぞれ変更をお願いしております。

議案第33号は、平成22年度大館市病院事業会計補正予算（第4号）案であります。

最初に、収益的収入及び支出であります。収入では、他会計負担金等を9,602万9,000円追加し、補正後の総額は100億7,229万2,000円となる見込みであります。支出では、減価償却費等を2,106万5,000円追加し、給与費・経費等を4,992万円減額したことにより、補正後の総額は108億6,399万9,000円となる見込みであります。次に、資本的収入及び支出であります。収入では、企業債・補助金等を3,978万7,000円減額したことにより、補正後の総額は7億9,917万5,000円となる見込みであります。また、支出では、建設改良費等を5,008万1,000円減

額し、補正後の総額は11億3,217万7,000円となる見込みであります。

このほか、第4条から第8条に既定の債務負担行為等につきまして、それぞれ変更等をお願いしております。

議案第34号は、平成23年度大館市一般会計予算案であります。

平成23年度の当初予算は総額293億2,064万円で、前年度当初予算と比較しますと額で3億7,705万5,000円、率で1.3%の減となっており、4月の市長・市議会議員選挙を控え、骨格による予算編成を基本としながら、雇用・地域医療の確保、少子高齢化対策など、市民生活の根幹にかかわる経費について措置した内容となっております。

それでは、歳入から主な内容を御説明申し上げます。まず、財源の根幹をなす市税は74億9,145万円で、前年度と比較しますと額で5,052万1,000円、率で0.7%の減となっており、内訳では、個人・法人を合わせた市民税で1億6,831万5,000円の減、固定資産税で1億3,556万8,000円の増などとなっております。地方交付税では総額で115億3,115万円で、前年度と比較しますと2億990万9,000円、率で1.9%の増となっております。国庫支出金は33億93万4,000円を計上し、主な内容は、障害者自立支援給付費負担金5億3,253万円、生活保護費負担金12億9,175万8,000円、子ども手当負担金10億1,453万3,000円となっております。県支出金は21億3,992万2,000円を計上し、主な内容は、福祉医療費補助金2億5,806万9,000円、子宮頸がん等予防接種促進事業費補助金4,266万9,000円、ふるさと雇用再生特別交付金及び緊急雇用創出事業交付金5億3,990万8,000円となっております。繰入金には減債基金繰入金3億円など、総額3億5,259万8,000円を計上し、市債では、地域総合整備資金貸付事業債に1億円、臨時財政対策債に14億円など、総額15億3,930万円を計上しております。

次に、歳出について主な内容を申し上げますと、議会費には3億4,889万4,000円を計上。総務費では26億675万9,000円を計上し、主な内容は、県議会議員一般選挙費に2,194万2,000円、市長・市議会議員一般選挙費に7,969万8,000円。民生費では総額104億8,514万4,000円を計上し、主な内容は、障害者福祉費に11億9,282万3,000円、高齢者福祉費に1億562万7,000円、医療給付費に5億6,636万8,000円、後期高齢者医療費に10億2,549万7,000円、介護保険費に12億6,811万3,000円、保育園費に8億4,303万円、子ども手当費に12億8,679万8,000円、生活保護費の扶助費に17億2,597万8,000円などとなっております。衛生費では総額40億5,914万3,000円を計上し、主な内容は、市立総合病院及び扇田病院への負担金・補助金合わせて14億9,022万1,000円、子宮頸がんワクチンなどの予防接種費に1億8,581万7,000円、ごみ焼却処理費に8億3,378万9,000円。労働費には7,973万3,000円を計上。農林水産業費には総額で6億4,940万3,000円を計上し、主な内容は、農業基盤整備事業費に3,826万円、水田農業推進費に飼料用米等作付支援事業補助金などで3,800万8,000円。商工費には10億3,221万8,000円を計上し、主な内容は、商工金融対策費に中小企業融資あっせん資金預託金など6億3,347万9,000円、観光費に観光物産プラザ管理運営業務委託料などで1億2,934万4,000円。土木費は総額で12億2,622

万4,000円を計上し、主な内容は、道路維持費に6,364万2,000円、まちづくり事業費に1億3,260万5,000円、住宅管理費に1億1,206万6,000円、建築指導費に住宅リフォーム緊急支援事業費補助金6,000万円。消防費は総額11億5,062万7,000円を計上し、常備消防費に10億3,521万4,000円。教育費は総額26億7,936万6,000円を計上し、主な内容は、学務費に小・中学校図書整備事業費などで3,414万7,000円、文教振興施設費に指定管理料などで1億4,469万6,000円、保健体育総務費に全国高校総体実行委員会負担金などで1億1,547万5,000円。公債費には39億1,395万9,000円を計上。諸支出金では下水道事業等の公営企業会計への負担金・補助金等10億1,866万2,000円を計上しております。なお、緊急雇用創出及びふるさと雇用再生臨時対策基金事業につきましては、本年度は農業後継者育成事業など合わせて80事業に5億3,990万8,000円を計上しております。

また、このほかに、第2条第2表に市庁舎警備業務委託料など7件に係る債務負担行為の設定を、第3条第3表には上水道出資金など10件の地方債の限度額等の設定を、第4条に一時借入金の限度額の設定を、また、第5条には予算の流用に関する事項につきまして、それぞれ御提案申し上げます。

議案第35号から同第52号までの18件は、平成23年度大館市の各特別会計における予算案等があります。

議案第35号は、平成23年度大館市国民健康保険特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は91億2,169万6,000円となっており、主な内容は、歳入で、国民健康保険税に14億7,246万8,000円、国庫支出金に18億8,255万7,000円、支払基金からの前期高齢者交付金に29億6,115万3,000円を計上し、歳出では保険給付費に62億3,586万9,000円を計上しております。

なお、このほかに、第2条及び第3条に一時借入金の限度額の設定等につきまして、それぞれ御提案申し上げます。

議案第36号は、平成23年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は8億421万7,000円となっており、主な内容は、歳入で、後期高齢者医療保険料に5億9,316万7,000円、一般会計繰入金に2億1,096万1,000円を計上し、歳出では後期高齢者医療広域連合納付金に7億9,811万2,000円を計上しております。

議案第37号は、平成23年度大館市介護保険特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は78億1,933万5,000円となっており、主な内容は、歳入で、保険料に12億5,859万7,000円、国庫支出金に18億8,174万4,000円、支払基金交付金に22億9,372万4,000円、繰入金に12億2,917万9,000円を計上し、歳出では保険給付費に76億1,289万2,000円を計上しております。

なお、このほかに、第2条及び第3条に一時借入金の限度額の設定等につきまして、それぞれ御提案申し上げます。

議案第38号は、平成23年度大館市介護サービス事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は7,964万円となっており、主な内容は、歳入で一般会計繰入金に7,963万7,000円、歳出では公債費に7,963万9,000円を計上しております。

議案第39号は、平成23年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は2,798万5,000円となっており、主な内容は、歳入で、使用料及び手数料に1,317万7,000円、一般会計繰入金に1,480万6,000円を計上し、歳出では総務費に1,984万2,000円を計上しております。

議案第40号は、平成23年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は336万円となっており、主な内容は、歳入で使用料及び手数料に196万6,000円、歳出では総務費に336万円を計上しております。

議案第41号は、平成23年度大館市休日夜間急患センター特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は3,944万7,000円となっており、主な内容は、歳入で診療収入に2,640万円、歳出では休日夜間急患センター費に3,671万1,000円を計上しております。

議案第42号は、平成23年度大館市田代診療所事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は6,654万9,000円となっており、主な内容は、歳入で診療収入に5,320万円、歳出では医業費に6,607万1,000円を計上しております。

議案第43号は、平成23年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は2,335万6,000円となっており、主な内容は、歳入で使用料及び手数料に948万3,000円、歳出では卸売市場費に2,235万5,000円を計上しております。

議案第44号は、平成23年度大館市農業集落排水事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は3億6,434万6,000円となっており、主な内容は、歳入で、使用料及び手数料に8,012万4,000円、繰入金に2億4,541万9,000円を計上し、歳出では、農業集落排水費に1億1,881万9,000円、公債費に2億4,073万6,000円を計上しております。

なお、このほかに、第2条第2表に2件の債務負担行為の設定を、第3条第3表に地方債の限度額等の設定につきまして、それぞれ御提案申し上げます。

議案第45号は、平成23年度大館市公営駐車場事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は4,265万1,000円となっており、主な内容は、歳入で一般会計繰入金に3,796万9,000円、歳出では、駐車場管理費に1,022万8,000円、公債費に3,192万3,000円を計上しております。

議案第46号は、平成23年度大館市温泉開発特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は1,330万1,000円となっており、主な内容は、歳入で温泉事業収入に1,168万1,000円、歳出では温泉経営費に896万6,000円を計上しております。

議案第47号は、平成23年度大館市奨学資金特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は2,750万円となっており、主な内容は、歳入で返済金に2,749万7,000円、

歳出では奨学資金貸付金などで2,750万円を計上しております。

議案第48号は、平成23年度大館市都市計画事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は4億1,860万4,000円となっており、主な内容は、歳入で一般会計繰入金に4億1,445万7,000円、歳出では、都市計画事業費に5,444万6,000円、公債費に3億6,415万8,000円を計上しております。

なお、このほかに、第2条第2表に地方債の限度額等の設定を御提案申し上げております。

議案第49号は、平成23年度大館市土地取得特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は4,000円であり、歳入・歳出とも存置項目のみを計上したものであります。

議案第50号は、平成23年度大館市宅地造成事業特別会計予算案であります。

本年度の予算総額は1,900万3,000円となっており、主な内容は、歳入で一般会計繰入金に1,900万円、歳出では宅地造成費に1,900万3,000円を計上しております。

議案第51号は、平成23年度大館市宅地造成事業特別会計への繰入れについてであります。

これは、ただいま議案第50号で御説明申し上げました平成23年度大館市宅地造成事業特別会計予算案におきまして、一般会計から1,900万円を繰り入れしようとするものであり、地方財政法第6条の規定により、議会の議決をお願いするものであります。

議案第52号は、平成23年度大館市財産区特別会計の上川沿財産区勘定から山瀬財産区勘定までの7財産区勘定における予算案であります。

本年度の予算総額は7勘定合わせて2,300万1,000円であり、内容はいずれも各財産区が所有する財産の管理及び区域内の公益事業の実施等に係る費用であります。

議案第53号は、平成23年度大館市水道事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。前年度当初との比較で給水戸数を37戸増の2万5,313戸、年間総給水量を1.1%増の557万6,800立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は給水収益・他会計補助金等で13億1,319万4,000円とし、支出は営業費用等で12億8,335万5,000円としております。次に、資本的収入及び支出であります。収入は企業債・出資金等で1億9,661万3,000円とし、支出は建設改良費・企業債償還金等で5億8,287万円としております。

このほか、第5条から第10条に企業債に関する事項等につきまして、それぞれ御提案申し上げます。

議案第54号は、平成23年度大館市工業用水道事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。前年度当初との比較で年間総給水量を8.6%増の112万7,000立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は給水収益・他会計補助金等で4,483万円とし、支出は営業費用等で4,472万4,000円としております。次に、資本的収入及び支出であります。収入は存置項目のみで、支出は建設改良費と企業債

償還金で2,488万8,000円としております。

このほか、第5条から第8条に一時借入金の限度額等につきまして、それぞれ御提案申し上げております。

議案第55号は、平成23年度大館市下水道事業会計予算案であります。

最初に、業務の予定量であります。前年度当初との比較で排水戸数を445戸増の1万1,062戸、年間総排水量を3.9%増の253万4,000立方メートルとしております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は下水道使用料・他会計補助金等で11億7,450万1,000円とし、支出は営業費用等で13億4,887万8,000円としております。次に、資本的収入及び支出であります。収入は企業債・国庫補助金等で7億5,694万2,000円とし、支出は建設改良費・企業債償還金等で12億4,891万4,000円としております。

このほか、第5条から第10条に債務負担行為に関する事項等につきまして、それぞれ御提案申し上げております。

議案第56号は、平成23年度大館市病院事業会計予算案であります。

平成23年度の病院事業につきましては、地域の中核病院として医療機能の高度化を図るため、人工透析室の拡張、透析機器の増設等、安心して医療を受けていただくための基盤整備を進めるとともに、平成24年度からのDPC対象病院への移行を目指し、より効率的な病院経営に取り組んでまいります。最初に、業務の予定量であります。1日平均患者数を、総合病院の入院で408人、外来で1,100人、扇田病院の入院で97人、外来で192人としております。次に、収益的収入及び支出であります。収入は、外来収益・他会計負担金等の増により、前年度当初比で1.3%増の101億541万6,000円とし、支出は医業費用等で前年度当初比で3.0%増の109億3,777万円としております。次に、資本的収入及び支出であります。収入は企業債・他会計負担金等で8億1,175万2,000円とし、支出は建設改良費と企業債償還金で11億3,960万5,000円としております。

このほか、第5条から第11条に企業債に関する事項等につきまして、それぞれ御提案申し上げております。

以上であります。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。(降壇)

○議長(石田雅男君) これより、ただいまの上程議案等に対する質疑に入ります。

御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(石田雅男君) なしと認め、質疑を終結いたします。

○議長(石田雅男君) 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

次の会議は、2月28日午前10時開議といたします。

本日は、これにて散会いたします。

午前11時19分 散 会
